



ワクワクする体験を!!

今年もあと残すところ、1か月となりました。暑さがなかなか収まらない今年でしたが、11月の下旬になると冷え込む日も増えてきました。朝、登校の見守りをしているもポケットに手を突っ込みながらの児童も目立つようになりました。「寒いけど手を出そうね」と声掛けもしていますが、そろそろ手袋を準備されるとよいかもかもしれませんね。



話は変わりますが、11月中旬に6年生の理科の授業【大地のつくりと変化】をする機会をいただきました。小さいものですが本物のアンモナイトとサメの歯の化石を手に入れることができたので、その一つひとつを石膏に閉じ込めて子どもたちに配付し、虫ピンで削って発掘し、化石標本を作ろうというものです。

もう30年以上前になりますが、私が大学生の時、実習で化石を発掘する機会がありました。ハンマーで石を割るときのワクワク感や化石が出てきた時の感激は今でも覚えています。理科の地学教材は、どうしても観察が中心となりがちですが、自分が味わったあのワクワクする体感を子どもたちに与えることができれば……。今回の発掘は疑似体験ではありますが、発掘するワクワク感や化石を傷つけないように掘り出す緊張感、1億年以上も前の実物化石を手にした驚きが子どもたちから伝わってきて、私も授業をしながらとてもうれしくなりました。子どもたちが体感したワクワク感が、これからの学びの原動力となってくれたら……。さらに喜ばしいことです。



冬休みに向けて学習もまとめの時期になりますが、子どもたちの「なぜ?」「どうして?」を大切にしながら、ワクワクする学習活動を通して「わかった」につなげていけるように、1時間1時間の授業を構築していきたいと思えます。

ご家庭におかれましては冬休みの計画を立てているところかと思えます。感染症の流行でなかなか思うような計画が立てられなかった年が続いていましたが、今年は…と考えているご家庭も多いかと思えます。お子さんの心を動かすような「ワクワク体験」をぜひ味わわせていただけるとありがたいです。 (校長)